

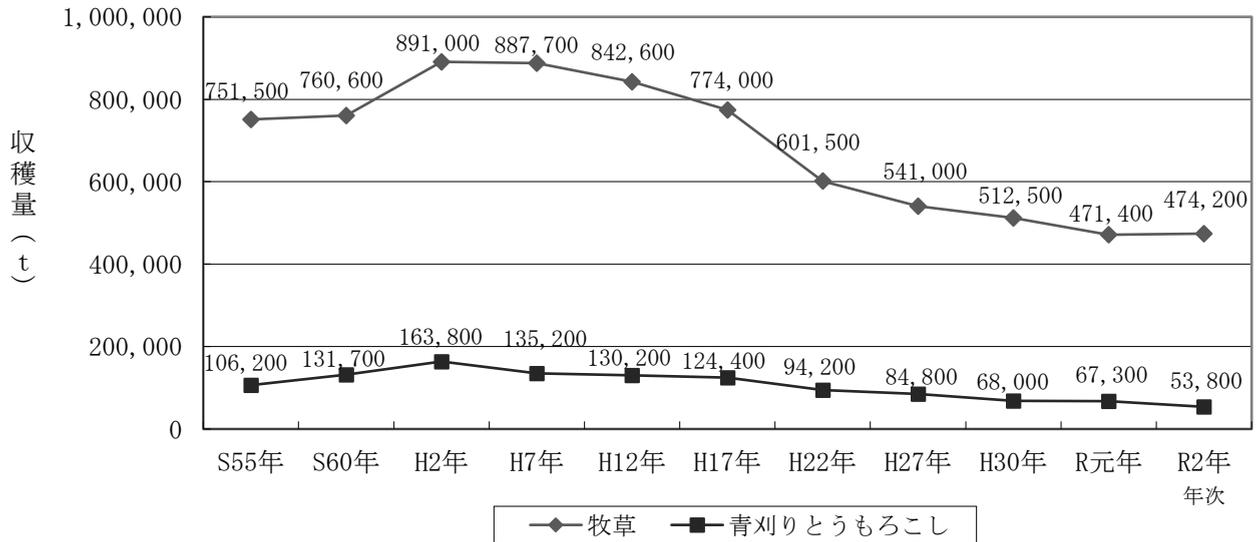
# 第6章 草地と飼料



## 1 自給飼料の生産

### (1) 飼料作物の収穫量

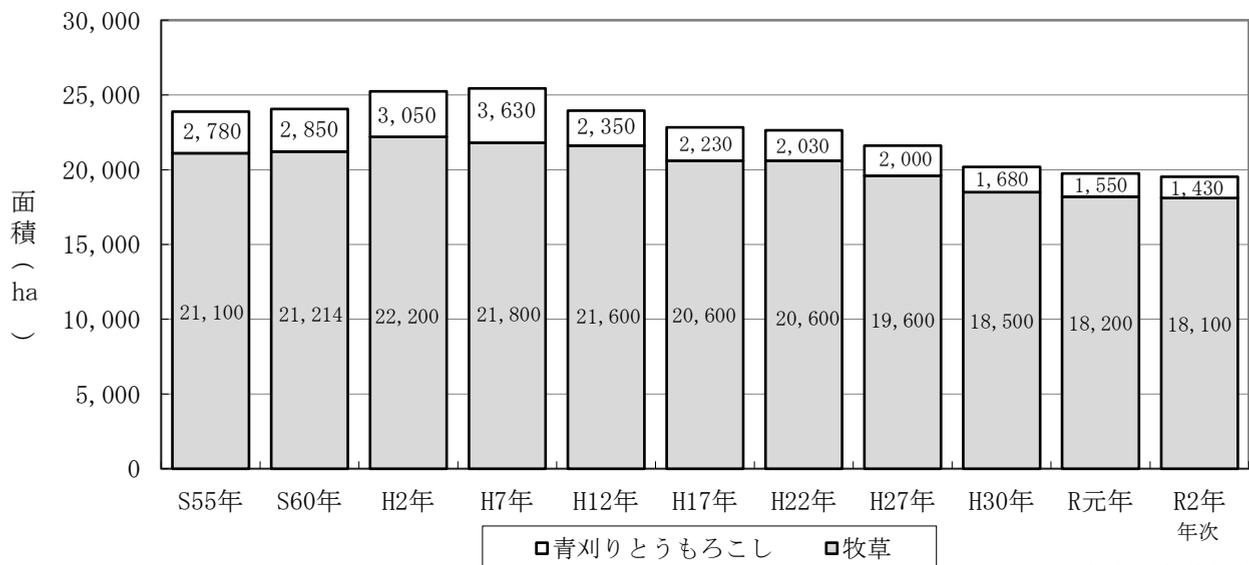
令和2年の飼料作物の収穫量は、牧草が474,200t（対前年比0.6%増）、青刈りとうもろこしが53,800t（対前年比20.1%減）となっている。



資料：作物統計

### (2) 飼料作物の作付面積

令和2年の作付面積は、牧草が18,100ha（対前年比0.5%減）、青刈りとうもろこしが1,430ha（対前年比7.7%減）となっている。



資料：作物統計

## 2 草地面積

### (1) 事業別草地造成・整備面積（昭和36年～令和2年）

（単位：ha、％）

事業名	面積	割合
団体営草地開発整備事業	4,187.28	22.1
小規模草地改良事業	3,210.90	16.9
県営草地開発事業	2,177.35	11.5
畜産基地建設事業	1,410.20	7.4
小規模草地開発整備事業	1,245.61	6.6
畜産担い手育成総合整備事業	1,206.41	6.4
自給飼料生産総合振興対策事業	977.00	5.1
飼料基盤整備事業	922.50	4.9
地域畜産総合対策事業	655.41	3.5
緊急飼料生産向上特別対策事業	474.40	2.5
共同利用模範牧場設置事業	442.80	2.3
農業公社牧場設置事業	431.41	2.3
集約牧野造成事業	368.00	1.9
林野活用畜産環境総合整備モデル事業	282.35	1.5
自給飼料生産向上特別対策事業	275.60	1.5
改良牧野造成改良事業	188.00	1.0
公共育成牧場整備事業	179.32	0.9
県営公共牧場整備事業	130.76	0.7
公共牧場機能強化事業	90.74	0.5
強い農業づくり交付金飼料基盤活用の促進	25.00	0.1
草地畜産基盤整備事業	104.97	0.6
合計	18,986.01	100.0

資料：県畜産課調査

### (2) 公共牧場数と放牧頭数（令和2年7月1日現在）

（単位：か所、ha、頭）

地域名	牧場数	面積		放牧頭数			
		うち牧草地	計	乳用牛	肉用牛	馬・羊等	
東青	12	1,223	597	199	0	199	0
中南	3	172	56	20	0	20	0
三八	13	2,488	1,104	690	12	678	0
西北	13	1,170	584	482	0	482	0
上北	27	5,625	2,531	3,061	927	2,134	0
下北	22	2,912	1,319	572	0	544	28
合計	90	13,590	6,191	5,024	939	4,057	28



※端数処理のため合計面積が合わない場合がある

資料：県畜産課調査

### (3) 水田転作による飼料作物作付面積

（単位：ha、％）

区分	12年	17年	22年	27年	29年	30年	R元年	R2年
転作作物面積 ①	22,907	21,032	22,843	31,627	30,688	28,512	28,362	30,042
飼料作物面積 ②	6,219	5,155	5,413	12,496	11,852	10,841	10,185	9,882
割合 ②/①	27.1	24.5	23.7	39.5	38.6	38.0	35.9	32.9

※飼料用米含む

資料：経営所得安定対策等の手引き

### 3 配合飼料の生産

#### (1) 用途別入荷量

令和2年度の本県への用途別入荷量は約103万4千トンで、前年度に比べて2%の減となった。

(単位：t、%)

区分	養鶏用			養豚用			牛用		その他 家畜用	配合・混合飼料	
	育すう	成 鶏	ブロイラー	子 豚	肉 豚	種 豚	乳牛用	肉牛用		合計	うち配合飼料
S55年度	32,682	186,744	81,558	95,783	33,521	23,657	26,710	64,051	1,154	545,860	512,877
60年度	36,937	228,050	107,481	146,692	34,176	42,909	36,199	103,598	3,346	739,388	718,852
H2年度	39,968	253,177	183,397	233,344	85,149	58,587	44,646	138,039	6,215	1,042,522	1,016,583
7年度	38,346	233,150	188,993	199,422	79,536	53,331	44,352	143,301	10,433	1,005,847	990,864
12年度	34,550	213,943	204,191	162,640	99,296	49,834	56,629	133,954	3,335	970,119	958,372
17年度	34,032	216,257	250,450	142,071	124,349	40,324	55,075	134,106	278	998,274	996,941
22年度	36,987	214,483	249,129	108,738	142,915	45,552	44,926	141,728	64	1,030,026	1,026,555
27年度	39,030	258,767	242,405	94,102	139,733	49,034	36,288	143,848	49	1,041,687	1,041,204
前年度比	102	101	108	90	93	92	96	102	3	99	99
30年度	49,303	263,432	242,531	84,587	141,232	52,404	40,701	132,900	516	1,044,071	1,042,643
前年度比	126	102	100	90	101	107	112	92	1,053	100	100
R元年度	36,376	264,735	250,285	88,761	150,785	49,656	41,604	135,736	944	1,056,437	1,054,787
前年度比	74	100	103	105	107	95	102	102	183	101	101
R2年度	35,992	252,730	245,808	87,612	153,126	49,962	44,860	126,864	3,851	1,035,945	1,034,022
前年度比	99	95	98	99	102	101	108	93	408	98	98

資料：飼料月報

#### (2) 用途別生産量

令和2年度の用途別生産量は約201万4千トンで、前年度と比べて1%減となった。

(単位：t、%)

区分	養鶏用			養豚用			牛用		その他 家畜用	配合・混合飼料	
	育すう	成 鶏	ブロイラー	子 豚	肉 豚	種 豚	乳牛用	肉牛用		合計	うち配合飼料
S60年度	37,786	233,779	287,450	166,203	50,542	46,486	33,182	100,756	3,338	959,522	959,522
H2年度	51,022	306,290	433,446	291,848	120,048	80,641	68,564	168,681	10,293	1,530,833	1,530,833
7年度	46,329	311,027	447,485	250,820	111,773	69,574	48,793	140,946	10,496	1,437,243	1,437,243
12年度	52,923	381,432	523,579	171,904	145,867	74,410	51,070	133,387	2,662	1,615,609	1,595,867
17年度	53,334	369,661	598,559	168,046	187,447	90,890	60,514	115,829	445	1,714,420	1,710,511
22年度	56,969	338,738	636,562	168,587	221,140	86,279	60,914	159,337	363	1,791,923	1,789,322
27年度	63,910	399,357	717,800	155,747	240,944	87,113	71,901	195,428	312	1,992,155	1,991,687
前年度比	94	97	101	89	94	98	98	90	23	96	96
30年度	63,354	420,164	724,882	139,230	240,884	87,637	76,315	186,606	806	1,998,282	1,997,283
前年度比	99	105	101	89	100	101	106	95	258	100	100
R元年度	61,539	420,631	741,832	145,264	255,298	88,369	77,641	188,296	1,170	2,039,570	2,038,862
前年度比	97	100	102	104	106	101	102	101	145	102	102
R2年度	59,679	410,526	723,011	143,287	260,824	92,225	80,063	180,845	4,097	2,014,944	2,014,092
前年度比	97	98	97	99	102	104	103	96	350	99	99

資料：飼料月報

## 4 青森県飼料作物奨励品種

令和4年2月現在

### (1) 牧草

草種	品種名	早晩性	品種特性等	指定年次
イネ科牧草				
オーチャードグラス	アキミドリⅡ	極早生種	採草放牧兼用（高標高地を除く）。	平成14年
	はるねみどり	早生種	1番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成23年
	まきばたろう	中生種	夏期の生育が旺盛。採草放牧兼用。	平成23年
	ハルジマン	晩生種	1番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成18年
	バックス	晩生種	1番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成26年
	えさじまん	晩生種	越冬性及び永続性に優れる。	令和4年
チモシー	クンプウ	極早生種	秋の生育良好。採草用。	昭和61年
	ユウセイ	極早生種	収量が多く、耐倒伏性に優れる。採草用。	平成26年
	ホライズン	早生種	草丈が高く、収量が多い。採草用。	平成23年
	ノサップ	早生種	再生力が旺盛で収量が多い。採草用。	平成5年
	アルテミス	中生種	草丈が高く、収量が多い。採草用。	平成30年
	クライマックス	中生種	葉長、葉幅が大きい。採草用。	昭和44年
	アッケシ	中生種	斑点病抵抗性が強い。採草用。	平成11年
	ヘリオス	中生種	収量が多い。採草用。	平成30年
	キリタツ	晩生種	耐倒伏性に優れる。採草用。	平成11年
イタリアンライグラス	ナガハヒカリ	中生種	耐雪性が極めて強い。採草用。	平成8年
ペレニアルライグラス	ヤツカゼ2	中生種	早春早期利用に適し、夏期の生育が旺盛。採草放牧兼用。	平成23年
	フレンド	晩生種	耐雪性が強い。採草放牧兼用。	昭和50年
	ヤツユメ	晩生種	夏期の収量が多い。放牧用。	平成28年
	夏ごしペレ	晩生種	越夏性及び永続性に優れる。採草放牧兼用。	令和4年
メドウフェスク	まきばさかえ	早生種	越冬性に優れ、早春の生育が良好。放牧用。	平成28年
フェストロリウム	東北1号	中生種	収量が多く、永続性に優れる。採草用。	平成26年
	那系1号	早生種	収量が多く、永続性に優れる。採草用。	平成31年
ケンタッキーブルーグラス	ラトー	早生種	収量が多く、越冬性、耐病性に優れる。放牧用。	平成26年
リードカナリーグラス	パラトン	早生種	草生密度が高く、雑草の侵入が少ない。刈遅れにより嗜好性が低下するため、1番草は出穂期までに刈り取る。	平成20年
マメ科牧草				
アカクローバ	ナツユウ	早生種	オーチャードグラスの晩生品種、チモシーの極早生・早生品種との混播に適する。	平成25年
	リョクユウ	早生種	オーチャードグラスの晩生品種との混播に適し、永続性に優れる。	平成28年
シロクローバ	フィア	早生種	葉は密生し、再生力に優れる。放牧用。	昭和44年
	マキバシロ	早生種	イネ科との混播適性が高い。	平成5年
アルファルファ	ケレス	早生種	耐病性、永続性に優れる。採草用。	平成26年
	ウシモスキー	早生種	収量が多く、耐病性、永続性に優れる。採草用。	平成30年

### (2) サイレージ用とうもろこし

品種名（系統名）	早晩性	適当な栽植密度	品種特性等	指定年次
おおぞら（北交55号）	極早生種	8,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	平成18年
パイオニア100日（P9400）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成27年
パイオニア106日（36B08）	早生種	7,000本/10a	短稈で収量が多く、耐病性に優れる。	平成15年
スノーデント108（LG3490）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	平成23年
パイオニア108日（34N84）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	平成23年
北交65号（北交65号）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐病性に優れる。	平成26年
きみまる（北交72号）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐病性に優れる。	平成28年
スノーデント110（LG30500）	早生種	7,000本/10a	長稈で、耐倒伏性に優れる。	令和4年
パイオニア110日（P0640）	早生種	7,000本/10a	雌穂割合が高く、長稈で収量が多い。	平成30年
パイオニア115日（P1690）	中生種	6,000本/10a	収量が多く、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成27年
パイオニア118日（P2088）	中生種	6,000本/10a	長稈で収量が多く、耐病性に優れる。	平成28年
クミアイデント118N（GN1645）	晩生種	6,000本/10a	安定した収量で、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成19年
タカネフドウ（長交C980）	晩生種	6,000本/10a	耐倒伏性に極めて優れる。	平成29年

### (3) その他飼料作物

草種	品種名	早晩性	品種特性等	指定年次
エン麦	前進	中生種	短稈で、子実が多い。サイレージ用。	昭和44年
	アムリⅡ	中生種	耐倒伏性に優れる。サイレージ用。	平成18年
	ニューオールマイティ	中生種	耐倒伏性に優れる。サイレージ用。	平成18年
ライ麦	春香	晩生種	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	平成23年
飼料用稲	えみゆたか	早生種	冷涼地帯で玄米収量が多く、いもち病抵抗性に優れる。飼料用米向け品種。	平成28年
	ゆたかまる	中生種	玄米収量が多く、耐倒伏性及びいもち病抵抗性は極めて強い。飼料用米向け品種。	令和2年
	あおばまる（青系208号）	中生種	長稈で収量が多く、耐冷性が極めて強い。WCS向け品種。	令和3年

# 第7章 家畜衛生



## 1 家畜防疫事業の推移

家畜伝染病、届出伝染病を中心とした家畜疾病の検査等を計画どおり実施した。

(単位：頭、羽、群)

事業区分		H6年度	12年度	17年度	22年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	
検査事業	牛	ブルセラ症	11,625	3,819	5,825	3,486	2,999	1,488	2,877	2,498
		結核	11,674	3,910	6,112	3,574	3,048	1,578	2,951	2,559
		ヨーネ病	1,656	7,150	9,046	7,704	10,080	11,463	12,156	11,896
		アカバネ病	1,529	1,026	540	489	493	490	497	485
		牛伝染性リンパ腫	1,034	617	500	530	1,714	1,768	2,111	2,097
		牛伝染性疾病	90,303	87,534	70,913	65,722	79,388	85,499	84,422	85,982
	馬	馬伝染性貧血	2,992	1,585	1,309	823	166	0	0	0
		馬伝染性子宮炎	652	496	385	266	0	0	0	0
		馬パラチフス	1,035	602	450	210	107	27	37	48
		馬鼻肺炎	447	300	230	209	25	21	20	20
	豚	豚オーエスキー病	4,359	4,612	4,220	4,961	2,199	790	712	740
		豚熱	—	—	—	520	470	450	450	1,350
		豚伝染性疾病	264,869	192,128	184,434	172,084	192,811	191,078	187,327	196,306
	家きん	ニューカッスル病 (一般)	6,340	5,110	4,977	4,935	4,820	2,100	2,150	2,100
		ニューカッスル病 (種鶏)	3,006	2,500	2,880	2,350	2,300	2,300	2,300	2,300
		家きんサルモネラ症 (種鶏)	8,000	6,500	4,807	3,950	2,300	2,300	2,300	2,300
		マイコプラズマ症 (種鶏)	8,200	6,500	5,004	3,850	2,300	2,300	2,300	2,300
		家きん伝染性疾病	370,730	288,997	304,995	439,510	402,040	377,663	330,289	421,353
	蜂	腐蛆病	10,444	10,293	9,957	9,077	8,412	7,878	7,967	7,187
	自衛防疫注射事業	牛	牛伝染性鼻気管炎 (混合ワクチンを含む)	5,694	7,349	8,172	9,053	12,498	12,625	12,889
アカバネ病			9,569	9,323	8,430	8,015	7,391	7,226	7,199	6,815
気腫疽			16,820	12,956	12,072	0	0	0	0	0
牛クロストリジウム (混合)			—	—	—	8,569	6,468	6,574	6,334	5,850
炭疽			0	8	27	0	0	0	0	0
馬		馬インフルエンザ (混合ワクチンを含む)	1,492	234	204	710	601	583	658	616
		馬鼻肺炎	442	285	156	187	197	268	223	262
豚		豚丹毒	11,790	508,262	455,122	170,852	45,638	42,807	42,739	48,988
		豚パルボウイルス	1,699	23	0	47	0	0	0	0
		豚流行性脳炎・ 豚パルボウイルス混合	1,659	1,101	704	280	0	200	200	200
		豚流行性脳炎	11,208	2,987	2,839	1,550	940	393	619	477
鶏		ニューカッスル病	64,790	52,290	63,090	93,000	65,000	66,000	63,000	59,000
		ニューカッスル病 伝染性気管支炎混合	13,000	36,000	39,000	64,000	51,000	56,000	59,000	62,000

資料：県畜産課調査

## 2 監視伝染病発生状況

牛のヨーネ病、牛伝染性リンパ腫及び豚丹毒の発生が引き続きみられている。

(単位：頭、羽、群)

区 分		年 次										
		H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3
家畜伝染病 (法第2条)	ヨーネ病	29	40	38	25	5	25	2	1	5	14	9
	結核											
	高病原性鳥インフルエンザ						14					10
	腐蛆病										14	
届出伝染病 (法第4条)	ウィルス性下痢	3										
	牛伝染性鼻気管炎											
	牛カンピロバクター症	1										
	牛伝染性リンパ腫	39	30	29	44	42	42	60	73	70	68	87
	気腫疽											
	サルモネラ症・牛		8			2	1	2		12		3
	サルモネラ症・豚			4								
	破傷風(牛)									1	2	
	馬鼻肺炎								1			
	豚丹毒	112	37	9	67	37	39	33	11	9	5	8
	豚赤痢											
	豚流行性下痢				202	15	19					
	鶏白血病											
	サルモネラ症・鶏											3
	鳥伝染性気管支炎										5	4
	鶏痘							2				2
	マレック病											
	ロイコチトゾーン症			16								
	レプトスピラ症・犬											
	バロア病	6							80		1	
アカリングダニ病								1				

資料：県畜産課調査

# 第8章 環境保全

## 環境汚染発生状況

### (1) 環境汚染の種類別発生件数

令和2年度の畜産環境汚染の発生は10件で、前年に比べ1件減少

(単位：件)

区分	H12年度	17年度	22年度	27年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度
悪臭発生	14	7	7	7	9	6	5	4
水質汚濁	1	4	6	1	1	6	2	2
害虫発生			1					
水質・悪臭	2		2	2	1	3	2	1
悪臭・害虫	2	2	2				1	1
その他			3	1	1	2	1	2
計	19	13	21	11	12	17	11	10

※調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

### (2) 畜種別発生件数

#### ① 畜種別合計

(単位：件)

区分	H12年度	17年度	22年度	27年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度
豚	9	7	8	5	3	5		1
乳用牛		1	3		2	2	2	3
肉用牛	1	1	9	5	5	9	8	4
採卵鶏	9	2	1	1			1	1
ブロイラー		2			1	1		
その他(馬・めん羊など)					1			1
計	19	13	21	11	12	17	11	10

※調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

#### ② 飼養規模別件数(畜種別合計の令和2年度内訳)

(単位：件)

区分	水質汚濁	悪臭	害虫	水質・悪臭	水質・害虫	悪臭・害虫	その他	計
豚	1～99頭							0
	100～999頭							0
	1,000～1,999頭							0
	2,000～2,999頭							0
	3,000頭～						1	1
採卵鶏	1～1,999羽							0
	2,000～9,999羽							0
	10,000～49,999羽		1					1
	50,000～99,999羽							0
	100,000羽～							0
ブロイラー	1～1,999羽							0
	2,000～99,999羽							0
	100,000～299,999羽							0
	300,000～499,999羽							0
	500,000羽～							0
乳用牛	1～9頭							0
	10～29頭		1					1
	30～99頭		1				1	2
	100～299頭							0
	300頭～							0
肉用牛	1～9頭							0
	10～19頭							0
	20～99頭		1				1	2
	100～499頭	1						1
	500頭～	1						1
その他				1				1
計	2	4	0	1	0	1	2	10

資料：県畜産課調査

# 第9章 参考資料

## 1 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標

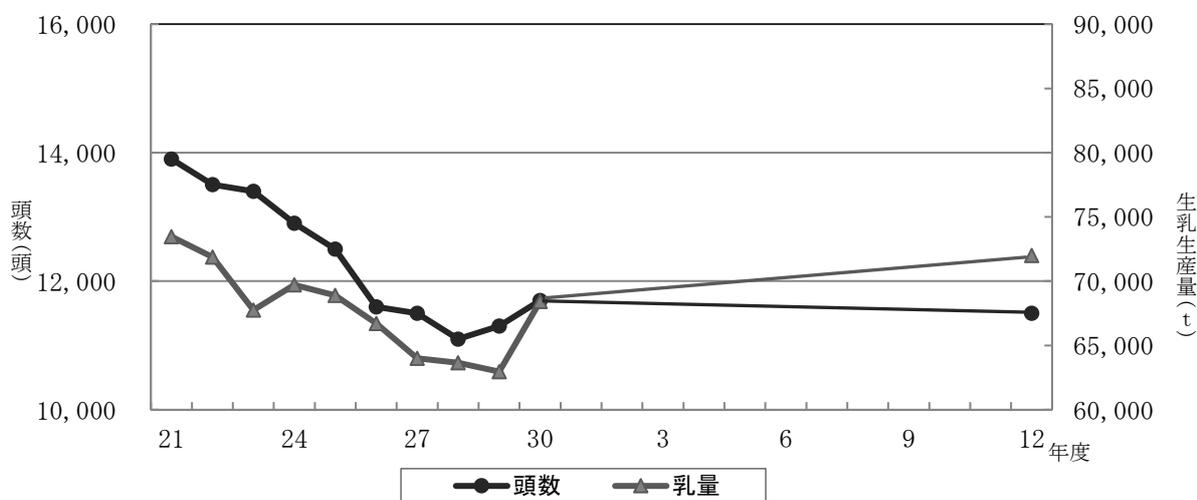
### (1) 生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標

(単位：頭、kg、t)

区分	総頭数 (頭)	成牛頭数 (頭)	経産牛頭数 (頭)	経産牛1頭当たり 年間搾乳量(kg)	生乳生産量 (t)
現在 (元年度)	11,700	8,520	8,290	8,370	68,430
目標 (12年度)	11,500	8,390	8,200	8,780	72,000



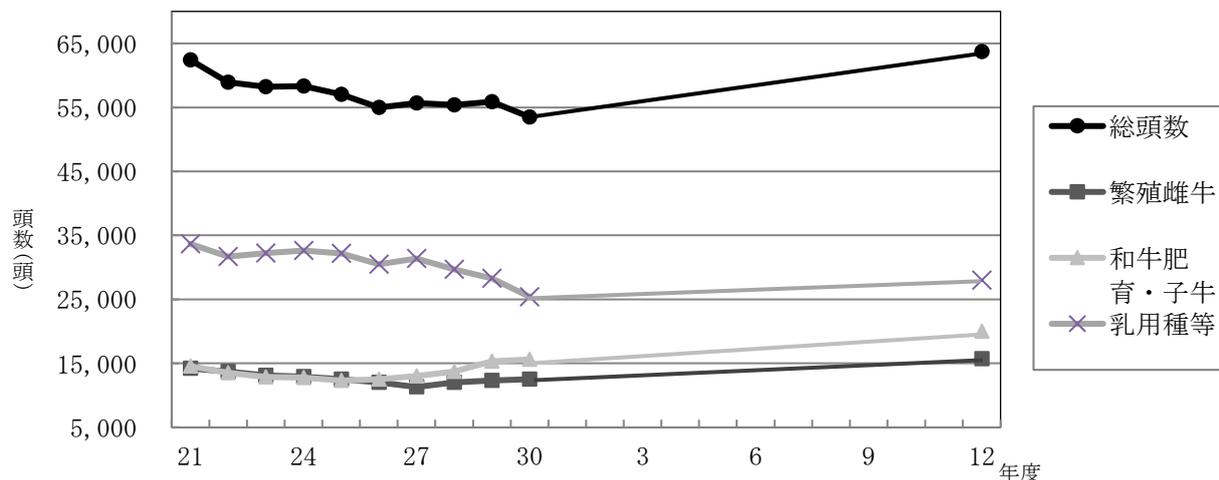
(注) 成牛とは、24ヵ月齢以上のものをいう。



### (2) 肉用牛の飼養頭数の目標

(単位：頭)

区分	肉用牛 総頭数	肉専用種				乳用種等		
		合計	繁殖雌牛 (育成牛含む)	肥育牛	その他	合計	乳用種	交雑種
現在 (元年度)	53,500	28,100	12,500	10,900	4,700	25,400	15,200	10,200
目標 (12年度)	63,700	35,700	15,700	13,100	6,900	28,000	12,000	16,000

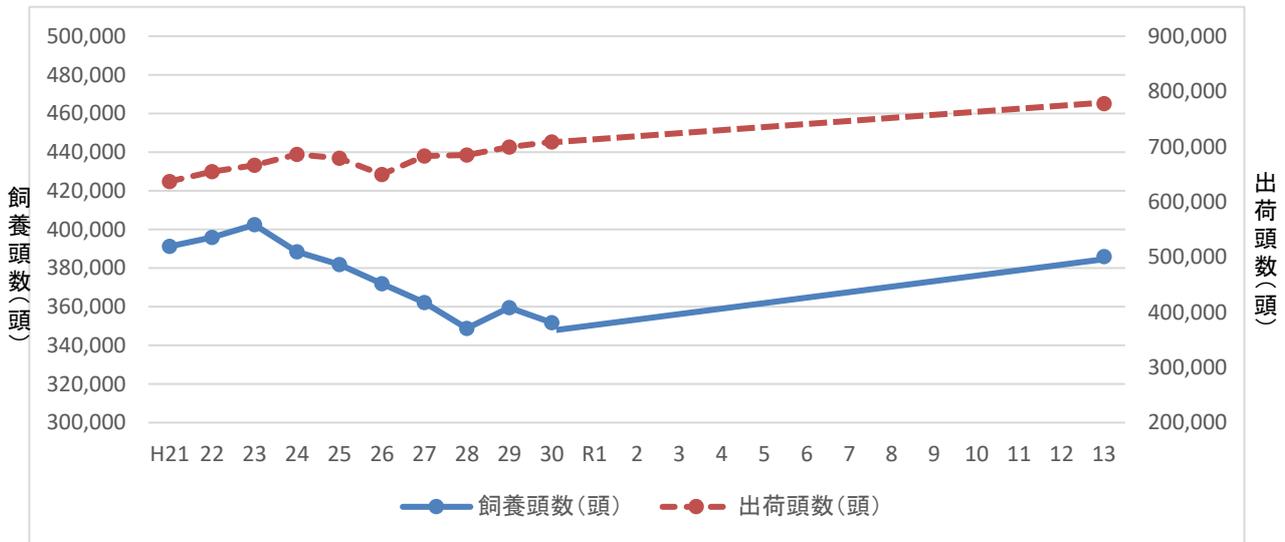
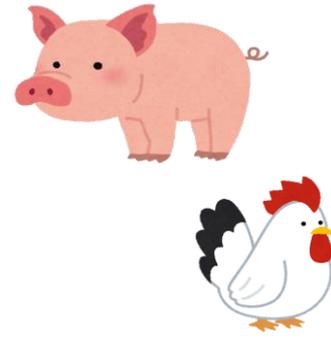


## 2 青森県養豚・養鶏振興プランの目標

### (1) 豚の飼養頭数の目標

区分	飼養頭数(頭)	出荷頭数(頭)
現在 (30年度)	351,800	708,668
目標 (13年度)	386,000	778,000

(注) 出荷頭数は畜産課調査。

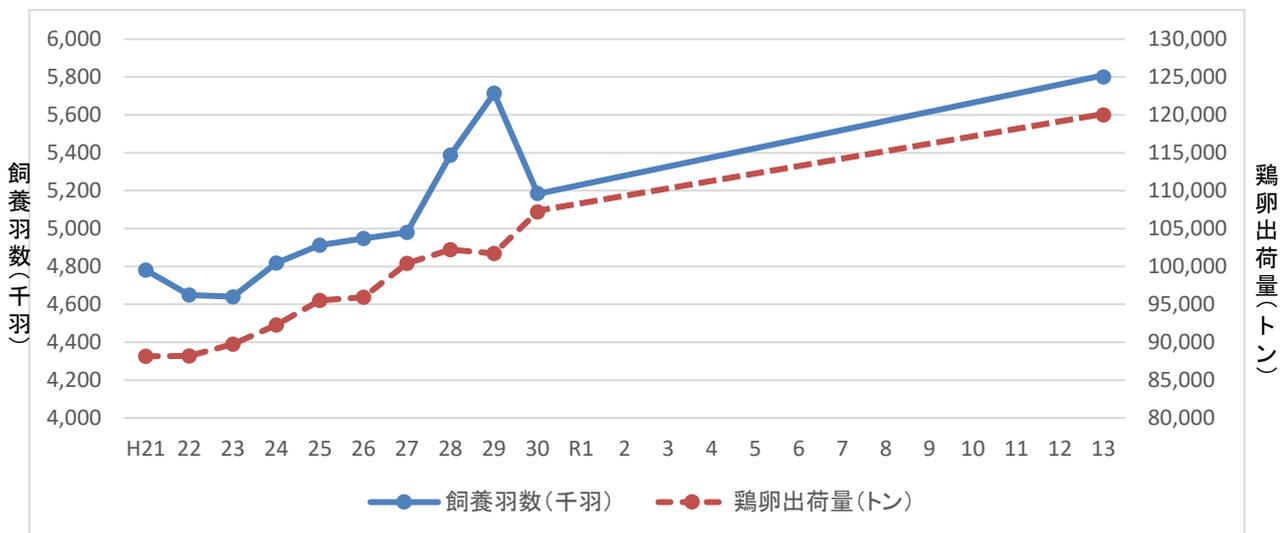


### (2) 採卵鶏の飼養羽数の目標

区分	飼養羽数(千羽)	鶏卵出荷量(千トン)
現在 (30年度)	5,186	107
目標 (13年度)	5,800	120

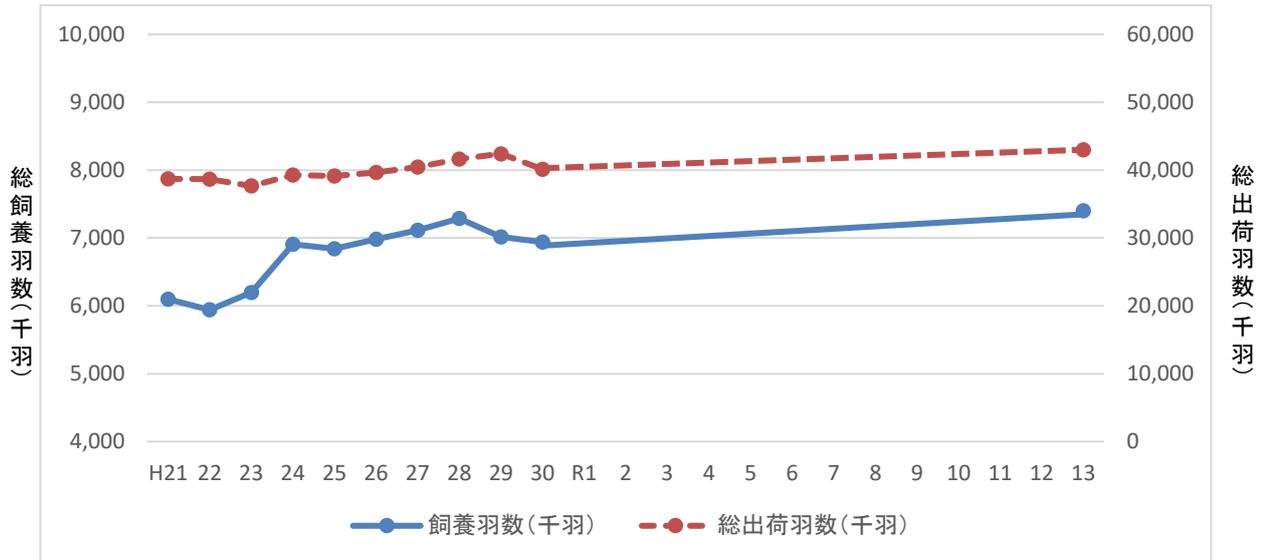
(注) 1. 飼養頭数は成鶏めす(6か月以上)の数

2. 22年度の飼養頭数は調査未実施のため、前後年の平均値で示した。



(3) プロイラーの飼養羽数の目標

区 分	飼養羽数 (千羽)	総出荷羽数 (千羽)
現 在 (30年度)	6,943	40,137
目 標 (13年度)	7,400	43,000



### 3 畜産行政組織の概要

#### 農 林 水 産 部

(令和4年3月1日現在)

		電話番号	FAX	郵便番号	住 所
畜 産 課	企画管理グループ	017-734-9495			
	経営支援グループ	017-734-9496			
	衛生・安全グループ	017-734-9498			
	飼料環境グループ	017-734-9497			
			734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
東青地域 県民局	地域農林水産部 農業普及振興室	017-734-9961	734-8305	030-0861	青森市長島二丁目10-3
	青森家畜保健衛生所	017-764-1744	728-0335	030-0134	青森市大字合子沢字松森395-26
中南地域 県民局	地域農林水産部 農業普及振興室 黒石分室	0172-33-2902	34-4390	036-8345	弘前市蔵主町4
		0172-52-4335	53-4114	036-0524	黒石市緑ヶ丘95
三八地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 三戸普及分室	0178-27-5111(代)	27-3323	039-1101	八戸市尻内町鴨田7
		0178-27-4444			
		0179-23-3264~6	23-3274	039-0134	三戸町同心町字同心町平54-7
	八戸家畜保健衛生所	0178-27-7415	27-7418	039-1101	八戸市尻内町毛合清水7-2
西北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 つがる普及分室	0173-72-6612	72-6618	038-2761	鱒ヶ沢町舞戸町字鳴戸384-37
		0173-35-2345	33-1345	037-0046	五所川原市栄町10
		0173-42-2222	42-2272	038-3146	つがる市木造桜木9-1
		0173-42-2276	42-6087	038-3151	つがる市木造若竹2-1
上北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 三沢普及分室	0176-22-8111(代)	22-9161	034-0093	十和田市西十二番町20-12
		0176-23-4281	25-7242		
		0176-53-2498	53-8539	033-0024	三沢市東岡三沢1-1-7
	十和田家畜保健衛生所	0176-23-6235	23-3044	034-0093	十和田市西十二番町19-23
下北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室	0175-22-8581(代)	22-3212	035-0073	むつ市中央一丁目1-8
		0175-22-2685	22-3212		
	むつ家畜保健衛生所	0175-22-1254	22-1259	035-0072	むつ市金谷二丁目18-25

## 4 試験研究機関

### 地方独立行政法人青森県産業技術センター

#### 畜産研究所

繁殖技術肉牛部

中小家畜・シャモロック部

酪農飼料環境部

和牛改良技術部

電話番号

FAX

郵便番号

住所

0175-64-2231 64-2230 039-3156 野辺地町枇杷野51

0173-26-3153 26-3205 038-2816 つがる市森田町森田月見野558

## 5 行政区域・各機関所在地



## 6 畜産関係機関・団体

(令和4年3月1日現在)

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
協 会 等	一般社団法人青森県畜産協会	030-0822	青森市中央2-1-15	017-723-2523	731-1196
	公益社団法人青森県獣医師会	030-0813	青森市松原2-8-2	017-722-5989	722-6010
	公益社団法人青森県獣医師会 食鳥検査センター	034-0001	十和田市大字三本木字野崎1-50	0176-58-0192	58-0913
	青森県養鶏協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8799	752-8191
	一般社団法人青森県養豚協会	030-0813	青森市松原3-8-5	017-752-1027	777-1590
	青森県酪農協会	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1 JAゆうき青森らくのう営農センター内	0175-64-3241	64-3244
	青森県飲用牛乳協会	036-8071	弘前市大久保西田364 萩原乳業株式会社内	0172-32-1451	32-8726
	青森県家畜人工授精師協会	039-2624	青森市東大野2-1-15 全農青森県本部畜産酪農課内	0175-63-3551	65-5006
	一般社団法人青森県配合飼料 価格安定基金協会	030-0812	青森市堤町1-2-21 青森県食糧会館3階	017-777-6543	775-5354
	青森県牛乳普及協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8631	762-1082
	一般社団法人日本短角種登録協会 青森県支部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	公益社団法人全国和牛登録協会 青森県支部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	東北軽種馬協会	039-0814	三戸郡南部町坩渡字鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
	農 協 等	一般社団法人青森県畜産・飼料 コンピナート振興協会	039-1164	八戸市下長2-2-24 下長第4オフィス2階7号室	0178-51-8868
全国農業協同組合連合会 青森県本部		030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8650	762-1082
JA全農あおもり畜産酪農部 畜産酪農課牛乳冷却処理所		039-2664	上北郡東北町乙供63-239	0175-63-3551	65-5006
青森県畜産農業協同組合連合会		039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
ゆうき青森農業協同組合 らくのう営農センター		039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1	0175-64-3241	64-3244
青森県農業共済組合		030-0802	青森市本町5-5-21	017-775-1161	775-1170
青森県軽種馬生産農業協同組合		039-0814	三戸郡南部町坩渡字鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
そ の 他		公益社団法人あおもり農業 支援センター	030-0801	青森市新町2-4-1 県共同ビル6階	017-773-3131
	青森県食肉事業協同組合	030-0113	青森市第二間屋町3-5-25 株式会社いしおか内	017-729-8078	050- 1197-8559
	青森県養蜂協会	030-0822	青森市中央2-1-15 (一社)青森県畜産協会内	017-723-2523	731-1196
	青森シャモロック生産者協会	030-0822	青森市中央2-1-15 (一社)青森県畜産協会内	017-723-2523	731-1196
	一般社団法人青森県農業会議	030-0802	青森市本町2-6-19 青森県土地改良会館4階	017-774-8580	774-8588

## 7 畜産関係施設

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
家畜市場	青 森 県 家 畜 市 場 (青森県畜産農業協同組合連合会)	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	八 戸 産 地 家 畜 市 場 (八 戸 畜 産 農 業 協 同 組 合)	039-0814	三戸郡南部町朧渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
	三 本 木 産 地 家 畜 市 場 (三 本 木 畜 産 農 業 協 同 組 合)	034-0001	十和田市三本木野崎40-433	0176-23-3581	23-5040
	八 戸 サ ラ ブ レ ッ ド 家 畜 市 場 (青森県軽種馬生産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町朧渡鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
食肉センター	日本フードパッカー津軽株式会社	038-1141	南津軽郡田舎館村川部富岡84-1	0172-58-4652	58-4664
	三 沢 市 食 肉 処 理 セ ン タ ー	033-0022	三沢市三沢淋代平116-3101	0176-59-3567	59-2865
	スターゼンミートプロセッサー(株) 青森工場三戸ビーフセンター	039-0122	三戸郡三戸町斗内中堤23-1	0179-25-2211	25-2213
	I H ミ ー ト パ ッ カ ー 株 式 会 社 十 和 田 ミ ー ト プ ラ ン ト	034-0001	十和田市三本木野崎1	0176-23-7321	23-7324
	日 本 フ ー ド パ ッ カ ー 株 式 会 社 青 森 工 場	039-2206	上北郡おいらせ町松原2-132-1	0178-52-3181	52-6855
	A T O 食 肉 セ ン タ ー	038-1141	南津軽郡田舎館村川部富岡1-1	0172-58-4683	55-6726
主な乳業工場	萩 原 乳 業 株 式 会 社	036-8071	弘前市大久保西田364	0172-32-1451	32-8726
	一 般 財 団 法 人 新 郷 村 ふ る さ と 活 性 化 公 社	039-1801	三戸郡新郷村戸来雨池11-2	0178-78-2511	78-2522
	有 限 会 社 斗 南 丘 牧 場	035-0021	むつ市田名部内田42-606	0175-28-2888	28-2889
	一 般 財 団 法 人 十 和 田 湖 ふ る さ と 活 性 化 公 社	034-0301	十和田市奥瀬堰道39-1	0176-72-3201	72-3204



## 8 県内の特徴的な動き(令和3年度)

### (1) 畜産の担い手・労働力確保対策

県では、畜産の担い手・労働力の確保に向けて、小中学生や高校生等を対象とした施設見学研修会や出前授業等を実施し、就労のきっかけづくりに取り組んでいます。



農業高校生の畜産施設見学研修会



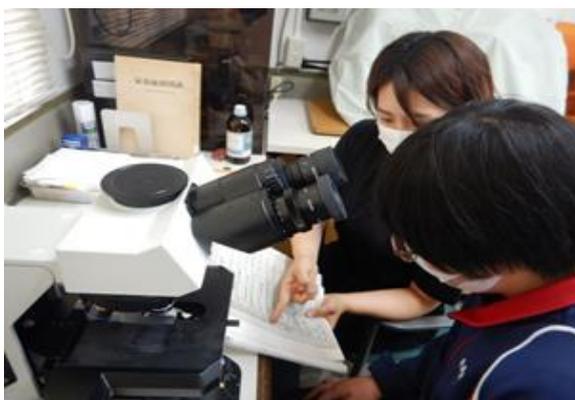
農場のライブ映像を活用した授業

### (2) 獣医師確保対策

県では、令和3年3月に「青森県獣医師職員確保プラン」を改定し、将来にわたり県獣医師職員を安定的に確保するため、インターンシップや小中学・高校への出前講座の実施、獣医系大学生や県内高校生への修学資金の給付などに取り組んでいます。



小学校での出前講座



高校生の職業体験

### (3) 酪農経営の労働負担軽減対策と効率的な粗飼料増産に向けた取組

県では、地域の実情に即した多様な形態の農作業受託組織の育成や、先端技術の活用などの新たな手法の導入による酪農経営の労働負担軽減を目的として、酪農経営の労働負担軽減実証事業を実施しています。



農薬散布実演会



農薬散布実証試験

#### (4) 安全で安心な畜産物の生産に向けた取組

県では、消費者から信頼される安全で安心な畜産物を生産するため、生産者が「農場HACCP」や「JGAP家畜・畜産物」認証について相談できるよう相談窓口を設置し、認証取得に向けた指導を行っています。



認証に向けた打合せ



生産者向け勉強会

#### (5) 第12回全国和牛能力共進会「鹿児島大会」に向けた取組

令和4年10月に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会で好成績を収めるため、巡回調査による出品候補牛の育成指導等を実施しています。



肉牛の部候補牛の「あっせん会」



超音波診断による肉質調査

